

令和7年度第2回宇城市総合政策審議会

日時	令和7年11月20日（木）14:00～15:20
場所	宇城市役所本館3階大会議室
出席委員	井田委員、富山委員、眞鍋委員、今泉委員、高橋委員、中内委員、濱崎委員、永野委員、紀伊委員
欠席委員	本間委員、植田委員、岡村委員、百家委員、坂井委員
事務局	小野田企画課長、企画課企画統計係職員

【議事要旨】

（１）宇城市総合計画及び地方創生総合戦略の評価方法について

①総合戦略の評価について

発言者	内容
委員	説明の整理をするが、まず総合計画及び総合戦略の目標値は策定時に確定しており、これからの評価では、その進捗をみていくので、審議会で改めて項目についての意見を述べることは基本的にはないと思う。ただし、目標値は達成状況に応じて、場合によっては見直した方がいいということはある。審議会では、評価において、基本的には既に設定されている基準の進捗をみて、進捗の原因は何なのかという評価を行うということでもいいか？ また、評価時の目標数値の数はいくつあるか？
事務局	前回の戦略では、施策の評価をするといながらも各事業の評価をしており、全部約130近くのKPI評価をしていた。 今回からぐっと絞り、こちらで設定したKPIの進捗を参考に評価していく。KPIに影響や効果があったとみられる事業が何か、逆に効果がなかった事業は何なのかというように、施策を評価する方向へ評価の考え方を変えようと考えている。 今回の戦略では、【資料2】の1ページのとおりに、基本目標の数は4本、その目標に関連する重点目標は計15本、【資料2】の2ページのとおりに、KPIの数が計26本ある。数値目標は【資料2】の5ページのとおりに、6本ある。
会長	総合戦略の基本目標は総合計画と同じだと思うが、総合戦略は重点項目、総合計画はプロジェクトというような似たようなものですが、違いがある。【資料2】の2ページは関係ないのか？
事務局	【資料2】の2ページは、KPIの目標値を一覧化したものになる。【資料2】3ページが評価内容を分かりやすいように示したものだ。KPIは26項目定めている。
会長	総合戦略の最終目標は、基本目標の達成であり、その達成を測る指標が【資料2】5ページの数値目標（KGI。最終目標・重要目標達成指標）となる。そして、基本目標の達成を目指すための取り組みが重点項目であり、これを測る指標が【資料2】2ページのKPI（中間目標・重要業績評価指標）となる。 【資料2】4ページ右下の審議会での現状評価や意見についてだが、この表のKPI（中間目標・重要業績評価指標）は、あくまでも左上の重点項目を達成したかどうかを測る指標。KPIが達成されたからといって、重点項目が達成されたかは分からない。従って表の右下の審議会評価では、KPIの達成状況で重点項目の達成に近づいているかどうかをポイントとしてみた方がよい。KPIをクリアしたからといって、それは単年度ごとの評価になるので、あくまでも審議会では「重点項目」をみる。 また、「重点項目」の進捗を測るKPIは変更可能。KPIは、状況の変化（コロナ禍など人出が減り、達成できない場合等）やKPI達成で重点項目の達成に近づいているかを考慮し、必要に応じて見直していく。なお、基本目標の達成を測る数値目標（最終目標のKGI）は、策定時に決めているので、これは変わらない。 そのため、あくまでも右下の審議会評価は、いかにKPIが重点項目の達成にどの程度近づいているのかをみる。そして、先ほどの説明にもあったが、事業の進捗で、市民の皆様の満足度、社会厚生状態に、いかに貢献しているのか？寄与しているのか？というのが評価する項目になるかと思う。 個々のKPIの達成度がどうかも重要ではあるが、実際はその上の目標のゴールである重点項目や数値目標の達成、これらのゴールに近づいているのが重要。あるいはKPIを戦略期間の途中でクリアした場合は、より重点項目や数値目標の達成に近づく2番目の高めの目標のKPIを設定するというような考え方をしていかなければいけない。担当課が現在のKPIの設定された事業だけをするということになると、市が目標としているベクトルに向かった基本目標は達成しているのか、あるいは重点項目は達成しているのか把握できず、問題になってくる。そのため、それらの部分については、事務局を通じて、各担当課にお伝えいただければと思う。

委員	【資料２】の４ページが分かりやすいが、このシート自体は今回から新たに作られたシートということで理解していいと思うが、これは重点項目ごとに、このシートが２６枚作成されるということになるのか？これからの評価はこのシートに基づいて評価を行っていくのか？
事務局	はい。２６枚作成されることになる。これからはこのシートに基づいて評価を実施する。
会長	【資料２】２ページのNo5の「熊本県学力・学習状況調査」やNo6の「体力・運動能力検査」は、各小学校、中学校でおそらく差が出ると思う。あるいは、各小学校、中学校ごとの最大値、最小値、平均値であったり、標準偏差値であったり、そうした統計データも含めた形で、公表数値は別にしても、この審議会場でそうした数値データはいただけるか？もちろんあくまで評価で利用するための用途として、審議会限定でマル秘で構わない。
事務局	教育委員会に相談し、できる限り対応を検討したい。この場では回答できない。
会長	もちろん所管課に相談しての回答で構わない。 この【資料２】２ページの26のKPIの項目の多くの部分が、複数の施設でごちゃ混ぜで数値が出てくると、宇城市は合併して広いので、そういった地域性の偏在も考えられると思う。マル秘資料で構わないので、少なくとも審議会の委員の皆様には、宇城市全体はこうだけど、それぞれの地域ではどうなのかの資料もいただきたい。 地域の資料は旧町村に分ける必要はない。むしろ旧町村に分けることはしないでほしい。宇城市を北部・中部・南部や東・真ん中・西など、３つくらいに分けるなどで、こういった数値になって、全体としてはこうというように資料をいただければ委員の皆様の判断もしやすいと思う。ご検討いただければと思う。
委員	【資料２】２ページのNo23のKPI「公民館講座延べ参加者数」の基準値が年間3,808人で、令和10年の目標が年間4,058人で、250人増やすというのは、少ないなという感覚。4年間でたった250人しか増やさないのかなという感覚がある。基準は分からないので、どういう設定で、目標の年間4,058人を数字を設定したのか？分ければ教えてほしい。また、250人増やすというのは、平均だったら25回講義を増やせばいいだけなので、小学生向けの無料の英語講座を開催するなど行えば、すぐ達成できそうな数値だと感じる。
事務局	設定の根拠は担当課に確認する。併せて、KPIの目標値について、もう少し上方修正が必要なのか、やはりこれくらいなのかについても確認をする。
委員	先ほど聞いたように、この目標値は承認されているのではないか？
事務局	今策定されている戦略で、このKPIを見ていくということは承認されている。KPI自体は今後、状況変化により、必要な場合は、見直ししていく。その際は必ず審議会に諮る。変更は必要なのか、必要でないのかは、委員の皆様にご意見を伺いながら、KPIは修正をしていく。
委員	審議会ではR5年の数値が基準値になり、R10年の目標値が設定され、これに対しての進捗をみていくと思うが、そうすると先ほどあったように、目標値がいかにしてこの数字が出てきたかというのをお示しいただく必要があると思う。
事務局	目標値の根拠については、分かるような形で評価をしていきたいと思う。
会長	各担当課には、26のKPIの目標値が適正なのか、そして目標値の根拠を確認していただく。数値に基づいて、客観的に事業評価を行うという方向に宇城市はベクトルを変えていると思うので、何を根拠として、その目標値にしたのかといった部分がないと、それを実現しているのかどうかを審議するのがこの審議会場だと思うので、少なくともそれに値するような資料は各担当課から提出を願いたいと思う。 各担当課に従来通りの考え方ではダメだとしっかり伝えていただき、次回以降はこの審議会場で、各委員からなぜこの値なのかといった場合に、各担当課にこの場に来て回答していただく。 以前は総合計画や総合戦略の審議会は各担当課に来てもらい、順次、各担当課ごとに質疑応答してもらった時代もあった。そうでないと事務局が全部把握するのは難しい。担当課がこの場に来ると、それなりに緊張する。そうすることによって、ちゃんと自分たちで言わないといけないとなり、それならばそれなりに準備しなければいけないとなる。その可能性を伝え、再度担当課へは目標値等について、確認いただければと思う。

②総合計画の評価について

発言者	内容
会長	先ほどの総合戦略は、評価シートで基本目標、重点項目、KPIというようにあったが、総合計画の【資料3】の評価シートでは、プロジェクトやまちづくり指標しかないが、KPIに当たる下の部分はどのようになっているのか？
事務局	総合計画は、4つの基本目標と、それに紐づくプロジェクト、そしてプロジェクトを達成すると最終的に達成を目指すまちづくり指標がある。総合戦略のように、各個別の目標値があるわけではない。個別の事業評価は各部署の個別計画内で行っていただき、総合計画の評価では、あくまで、まちづくり指標を達成するために、各部署でプロジェクトに取り組んでいただくことになる。
委員	先ほどの総合戦略と総合計画は別のものか？また、目標年は戦略が令和10年、計画が令和14年ということではよかったか？
事務局	そのとおり。補足として、総合計画のまちづくり指標は2つ設定をしており、R5年に市民アンケートを実施し、その結果が基準値になっている。これは今後、毎年アンケートを実施し、進捗を測る。目標値の具体的な数値目標は挙げていないが、最終的に当初の基準値より、数値を上げていくことを目標としている。
委員	数字を評価するということなのか？どういう取組内容が進んでいて数字が上がっているかなど、取組内容もないと、数字だけだと実感がない。そういうのが大事だと思う。年度年度の状況や取り組み方も必要だと思う。
事務局	毎年毎年の取り組みの状況は、数値も入れながら説明をしていきたいと思う。
会長	先ほどの質問に関連して、【資料3】5ページの「目標進捗率に影響した各部署の取組内容の分析（進捗の要因等）」では、上がった・下がったの原因だけでなく、それが宇城市民にとって、どのような影響、ウェルフェア（市民の幸福度や社会厚生）を上げたのか、下げたのかといったところの文言を各担当課が記入するということになると思うので、それを審議会で各委員の皆様にご判断いただく。 先ほどの質疑であったように、単に目標値に対して、上昇した、下落した、その要因は何かだけでなく、その結果、宇城市民に対して、どのような結果になったのかということ各年度で担当課で自己評価していただく。そこが主観的評価であって、この審議会でそれを客観的に評価するという形になるかと思う。そういった視点で、次回からこの評価シートについて、見ていただければと思う。
会長	本日の記載内容は事例だと思うが、3ページの記入例で、「プロジェクト達成に影響する各年度の重要な成果」の「現時点では記載できない」とある。実際にはないと思うが、くれぐれもこの例の記載内容だったり、他にもこれまで担当課で、1年前の評価と同じ文言、あるいはちょっとワンフレーズの単語だけ違うなどの記載が評価であったが、それは絶対辞めてほしい。もしそうするのであればその担当課の職員は必要ない。その時に自己評価したことを次の評価時に変革できないのであれば、そういう職員はいらないと思う。そういう自治体は20年後なくなる。 だから絶対この部分の成果については、プラスの成果、マイナスの成果、どちらもきちんと書いて、その上で、前年度と記載内容が同じということは全く何もしていないということなので、そういうことだけはくれぐれも避けていただくように各担当者にはお伝え願えればと思う。
会長	前回までの総合計画、総合戦略の審議会での各事業に関する評価シートなどに比べると、審議会の意見の視点も変わり、評価シートの形もかなり変わっているので、各担当課からすればなぜ変えるの？というクレームもあるかと思うが、その辺は事務局で説明いただければと思う。このような形になり、より宇城市が客観的な指標、客観的な評価に基づいた行政を進めていくんだという表れの1つだと思うので、私たちも前向きに評価したいと思う。

③評価のスケジュール等について

発言者	内容
会長	【資料１】の１３ページのスケジュールだが、行政職員は年度で人事異動があるので、異動があっても、評価等がきちんと継続した形で引き継ぎが行われ、５月下旬頃の審議会に臨めるように、各担当課の体制をきちんとするようにお願いできればと思う。
会長	【資料１】の２ページで、総合計画が市の最上位計画で、総合戦略は総務省から人口ビジョンに基づいて総合戦略を作りなさいということがあり、作られている。その下の左側に各部署の個別の計画があるが、この中で、一番上にある「都市計画マスタープラン（都市マス）」は、他の個別計画より少し上に位置するので、これは枠から出した方がいいと思う。 都市マスは、県が作る区域マスと関連するので、宇城市が独自に全部作れるものでない。他の計画は、ある程度の制約があっても市の独自色が出せると思うが、都市マスは他の個別計画と一緒にするのは性質上異なると思うので、別枠にしていただければと思う。
委員	この宇城市総合政策審議会は、宇城市の審議会の中でもかなり上の審議会で、その委員というのは、それだけの責任がある。そのため、資料は事前に２～３日前でもいいので早めにいただきたい。 また、我々も人事異動があるので、これまでの経過を知るという意味で、少なくとも議事録は事前にいただき、勉強した上で来ると、我々も意見が言いやすいのかなと思うので、そこはお願いをしたい。
会長	今、言われたことは審議会の内容のボリュームもあるし、最もだと思う。今日は１回で終わったが、場合によってボリュームが多い場合など、１回では済まない。１回でするとかなり長時間になる場合がある。仕事で慣れている人もいるが、ほとんどの委員の方は長時間の審議会は負担感が高く、もう行かないとなってしまうと困るので、少なくとも１週間前には審議会資料は、メールや郵送などで、届けてほしい。 そして、１期前の総合計画や総合戦略の審議会資料、これは議事録のことだが、議事録だと枚数も少ないと思うので、前総合計画や総合戦略の全ての審議会開催の議事録を一括したファイルの形で、各委員の皆様にお届けいただければ、こういう流れで審議会が来て、次回はこういう内容をするんだなと分かりやすくなるかと思うので、ご検討いただければと思う。
事務局	総合政策審議会に生まれ変わって、事務局側も手探りな部分もあり、順調にうまく離陸できていない部分もあり、皆様にはご迷惑をお掛けしたと思う。今後とも改善につなげていきたいと思う。 新しく第２次計画から第３次、３つ目の計画に移行して、それぞれの行政の事業について、今までは翌々年度に事業につなげるイメージだったが、それを少しでも時代の流れに沿って、できるだけフットワーク軽く、事業に落とし込んでいけるようにしたいと思う。今後とも活発なご意見いただきながらブラッシュアップできればと思う。